

令和4年度の重点課題

○女子では、「運動やスポーツをすることが好き」、「やや好き」と答える児童が90%に達していたが、男子は「ややきらい」、「きらい」と答える児童の割合が16.7%で比較的高率になっていた。

○第5学年の令和4年度の新体カテストの結果は、令和3年度と比較すると男子は全ての項目において県平均値・全国平均値を下回った。女子は上体起こしと反復横跳びの2項目において県平均値・全国平均値を下回った。令和3年度からの取組により握力は改善傾向にあった。

○令和4年度の結果から男女共に共通して、県平均値・全国平均値を下回っている項目は「上体起こし」と「反復横跳び」が挙げられる。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○授業のはじめに定期的に反復横跳びの練習をした。その際に、アップテンポな音楽をかけるなどして児童が楽しく取り組めるように工夫した。

○縄跳びカードを活用して、技術を向上させながら体を動かすことの楽しさを感じられる場面を設定した。

○体を動かすことに楽しさや喜びを感じることができるようアクティブチャイルドプログラムの一部を教職員に紹介したり、教職員研修を実施し授業改善に向け取り組んだ。

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.20	17.73	33.87	43.27	38.47	9.65	158.27	27.80	53.13	第5学年	14.22	18.33	40.89	40.67	30.78	10.08	148.00	17.25	54.63

県平均値が全国平均値未満

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.20	17.73	33.87	43.27	38.47	9.65	158.27	27.80	53.13	第5学年	14.22	18.33	40.89	40.67	30.78	10.08	148.00	17.25	54.63

県平均値が全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	73.33	20.00	6.67	0.00	第5学年	77.78	11.11	11.11	0.00

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ①年間を通して準備運動などでアクティブチャイルドプログラムを取り入れる。
- ②縄跳びカードの取組により持久力の向上を図るとともに、体を動かすことの楽しさや達成感を感じることができるようにする。
- ③体カテストの結果を記録をもとに、2学期・3学期も継続して取組を行い、記録を残すことで1年間の成長を視覚化する。

体育の授業以外で行う取組内容

- 運動やスポーツをすることが「ややきらい」、「きらい」と答える男子・女子児童の割合を10%以下にするために、教職員での研修に取り組む。
- 外遊び・縄跳びを推奨する。
- 学級遊びに「おにごっこ」等を入れて、体を動かす楽しさを実感させる。
- 休憩時間に縄跳びカードの取組を活用し、持久力を向上させる。

重点課題

情緒面での課題

「運動やスポーツをすることが好き」、「やや好き」と答える児童が男子では90%に達しているが、女子は90%に達していない。

体力面での課題

第5学年の令和5年度の新体カテストの結果は、令和4年度の県平均値と比較すると男女共に「握力」「上体起こし」「シャトルラン」「50m走」の4項目において県平均値・全国平均値を上回る。

令和6年度の重点目標値

- 男女ともに「運動がややきらい」、「きらい」と答える児童を10%以下にする。
- 「50m走」を県平均値・全国平均値以上にする。